

多様な主体と協働・連携した 地域を支える人材育成

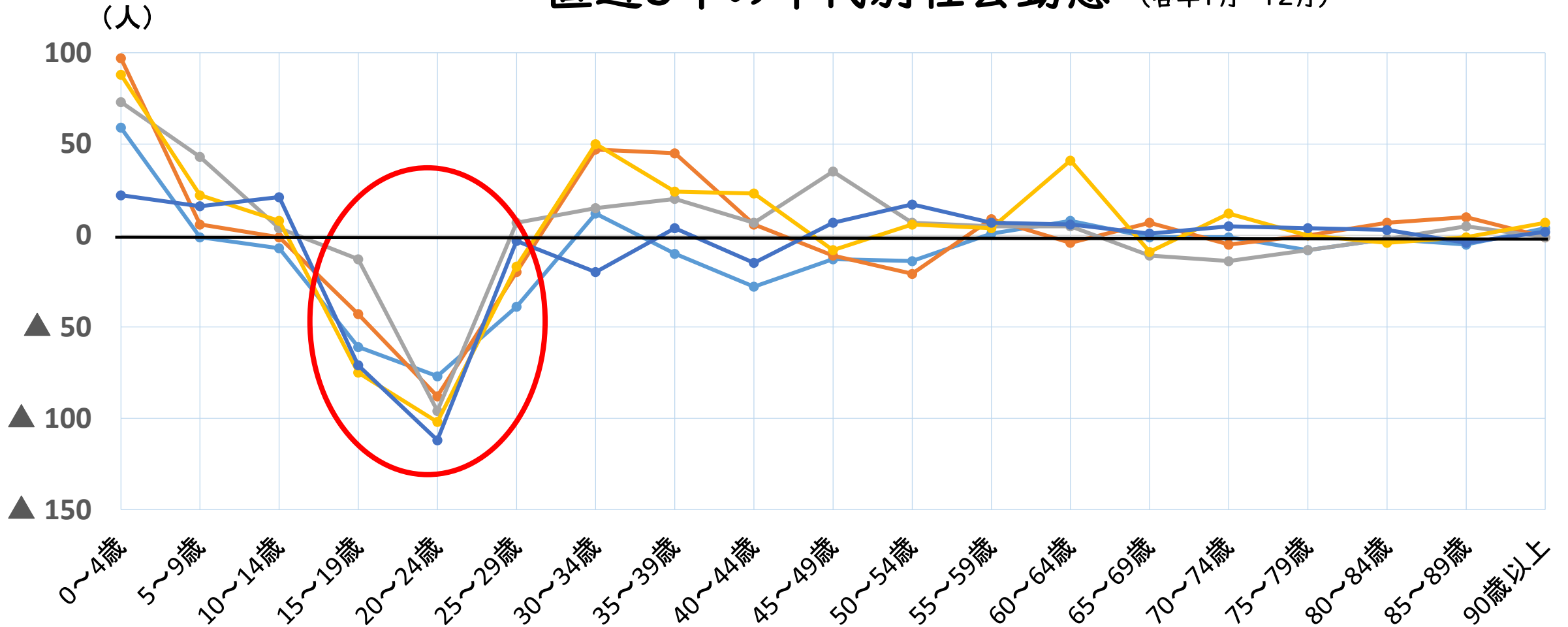
2022年8月22日

島田市まち・ひと・しごと創生市民会議

1. 現状と目標
2. 総合戦略における位置づけ
3. 具体的な取組
4. 今後の方向性（まとめ）

現状と目標

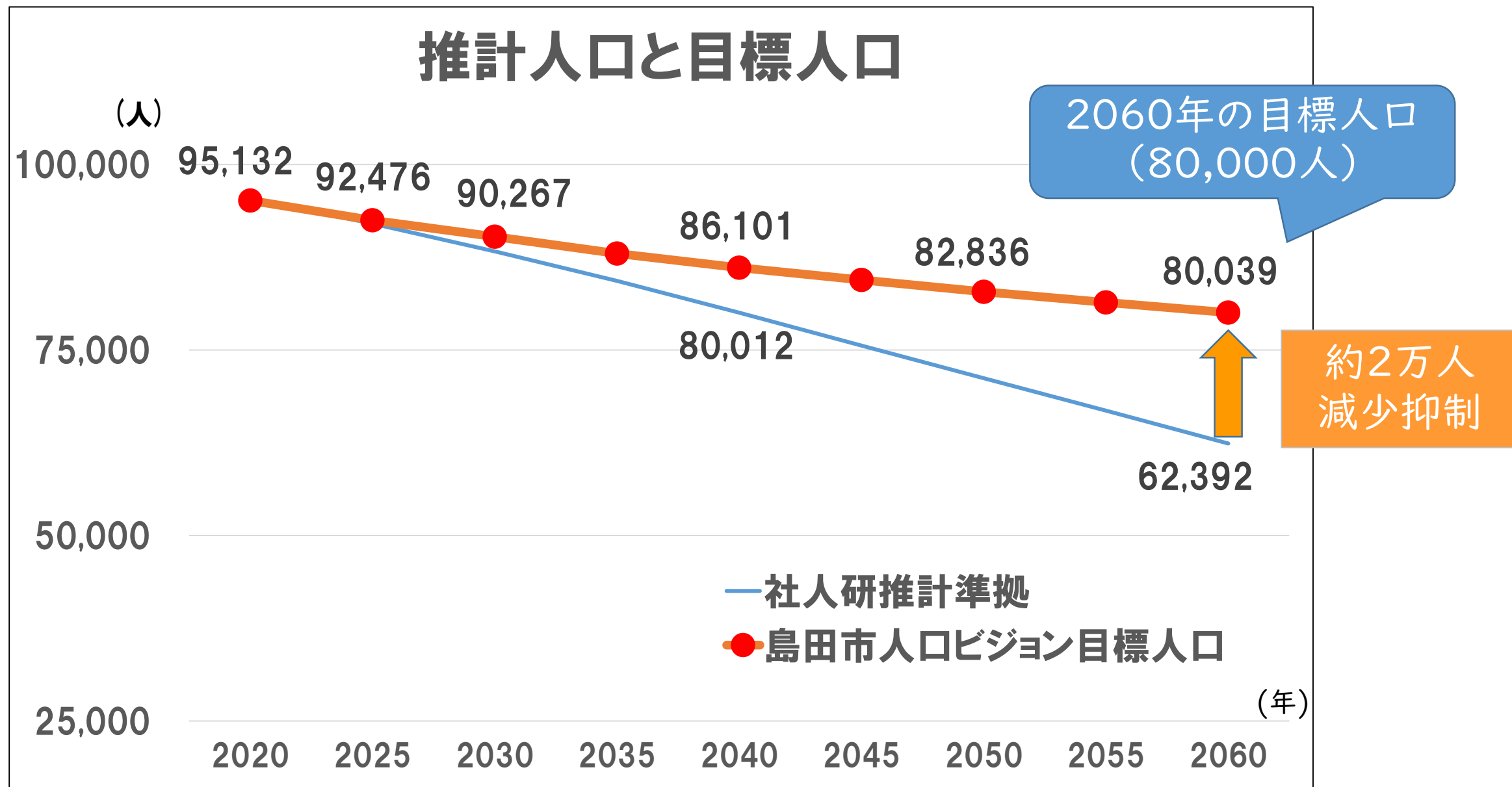
直近5年の年代別社会動態 (各年1月～12月)



出典：島田市住民基本台帳データを集計

・10代後半から20代は、転出超過 = 「進学・就職」

現状と目標



現状と目標

2060年の人口の目標 8万人

- ・社会動態をプラスにすることで、減少を緩やかに
- ・人口が減少する中でも地域を支える人材を育成

総合戦略における位置づけ

○基本目標2

島田市とつながり、住み、好きになる

○主な施策

地域を支える人材育成、多様な主体との連携

具体的な取組

- 市内5高校と経済団体との包括連携協定
- 島田市人材育成プラットフォーム
- 大学との連携協定

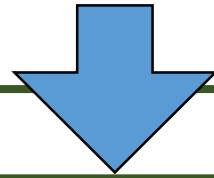
市内5高校と経済団体との包括連携協定



市内5高校と経済団体との包括連携協定

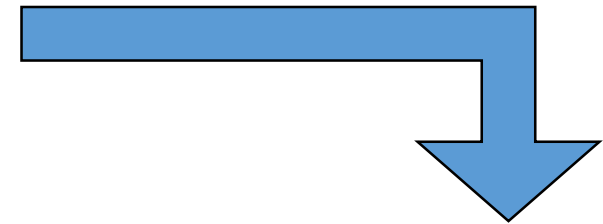
平成30年2月3日 包括連携協定締結

- ・市内5高校（島田、島田工業、島田商業、金谷、島田樟誠）
- ・3経済団体（島田商工会議所、島田市商工会、島田市観光協会）
- ・島田市



地域総がかりでの教育環境の実現

また、高校生に**地域の魅力を感じてもらい、**
島田市を離れたとしても**将来島田に戻りたい、**
また働く場があることを知ってもらうことで
若い力で島田を盛り上げていく。



**将来の「地元」を
担う人材を育成**

市内5高校と経済団体との包括連携協定

○連携した事業数

平成30年度以降、合計43事業（累計）

○年度別事業数（事業の重複あり）

平成30年度 14事業

令和 元年度 25事業

令和 2年度 14事業

令和 3年度 23事業

市内5高校と経済団体との包括連携協定

○分野別

- ・教育（高校生が教わる立場） 5事業（金谷高校総合的な探究活動等）
- ・文化 11事業（成人式動画配信等）
- ・スポーツ 2事業（シンガポール卓球ナショナルチーム交流会等）
- ・福祉 2事業（保育体験実習等）
- ・産業 2事業（高校生地元企業就職促進事業等）
- ・人材育成（高校生が教える） 4事業（子どもチャレンジ親子工作等）
- ・まちづくり 15事業（島田市女性議会等）

市内5高校と経済団体との包括連携協定

☆高校生ラジオ

高校生が市内企業の魅力を取材し、ラジオ番組を制作・放送
未来を担う若い世代に様々な働く場を知ってもらうとともに、
島田市への理解や愛着を深め、将来島田市で働く姿をイメージしてもらう



市内5高校と経済団体との包括連携協定

☆平和祈念式典

- ・高校生委員を募集し、平和祈念式典の企画、運営、展示を実施
- ・式典のライブ配信とドキュメンタリー制作



市内5高校と経済団体との包括連携協定

☆和菓子バル

川越し街道で、島田の和菓子店が自慢の1品を販売
高校生が着物で、販売のお手伝い



☆マラソン大会

しまだ・おもてなし隊として、ゴールでの荷物の
受け渡しや給水所での飲み物の提供など

島田市人材育成プラットフォーム

高等学校の教育目標の達成
地域人材の確保・定着・活躍

②地域企業への理解促進及び人材の確保

高校生等の地域企業への理解促進、
企業の価値観を共有できる人材の確保に資する取組

①進路選択の支援、キャリア形成

将来就く職業を見据えた進路選択の支援、
キャリア形成に資する取組

③学校の魅力化

高等学校のキャリア教育・探究学習推進による
学校の魅力化等に資する取組

島田高校、島田商業高校、島田工業高校、金谷高校、島田樟誠高校、
島田商工会議所、島田市商工会、島田市観光協会、島田掛川信用金庫、静岡大学、島田市、県中部地域局、
静岡県中小企業家同友会共同求人委員会、静岡新聞社、NPO法人しずおか共育ネット、県教育委員会

大学との包括連携協定

- ・静岡県立大学（平成27年8月11日協定締結）

地域社会の発展、人材育成を推進するため、文化、産業、学術等の分野で連携

- ・静岡福祉大学（平成30年3月26日締結）

福祉分野をはじめ子育て・教育・その他地域の課題解決や活性化について協力

- ・日本体育大学（令和2年1月30日締結）

体育・スポーツ及び健康づくりの分野において、相互の振興を図る

静岡県立大学との包括連携協定

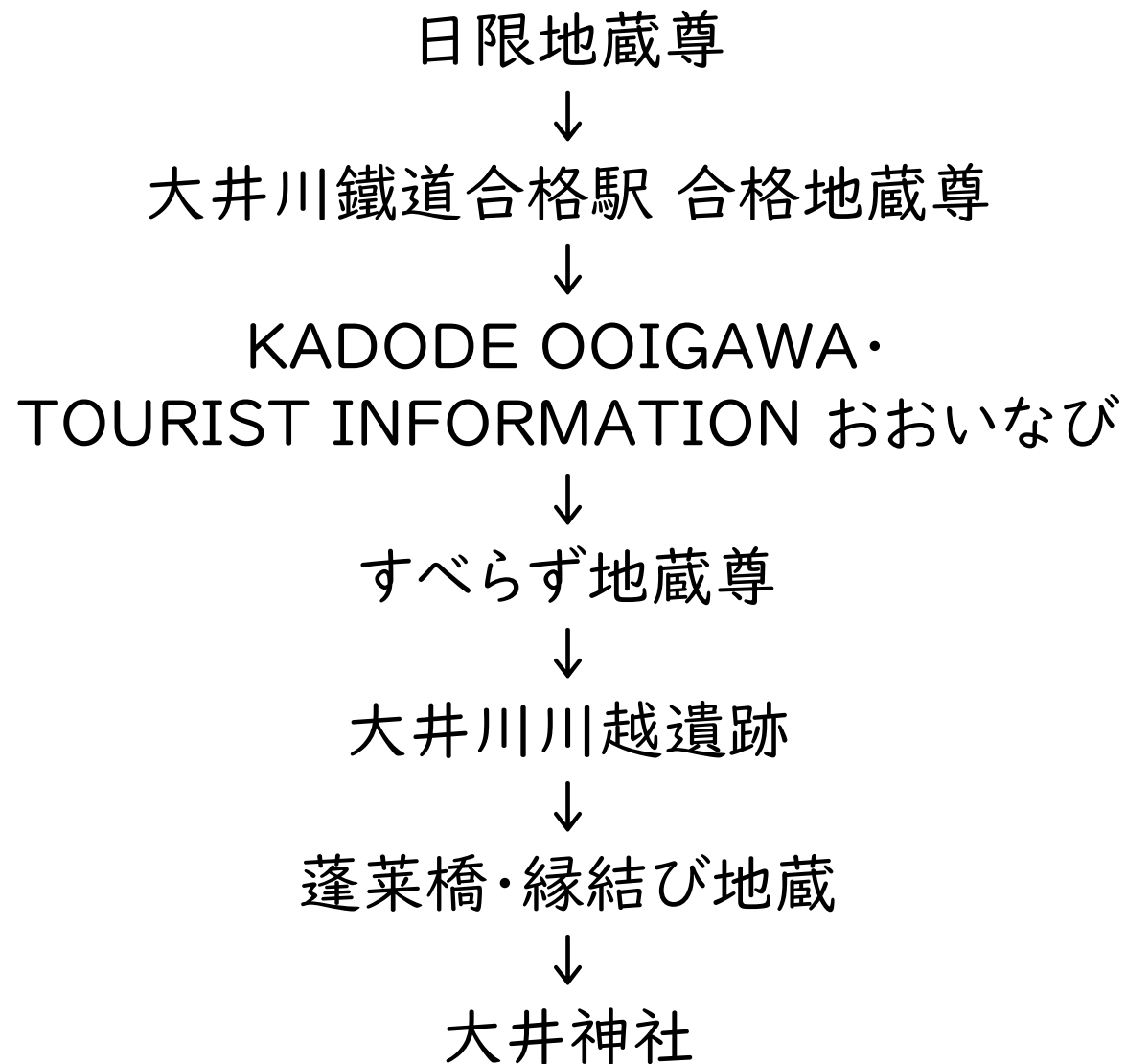
平成27年8月11日協定締結

市資源を活用した連携の強化を図り、**地域社会の発展、人材育成を推進**するため、**文化、産業、学術等の分野で連携し、協力**

- ・生徒や教授などが会議等への委員としての参加
- ・御利益ルートの作成 など

静岡県立大学との包括連携協定

御利益ルートを作成



今後の方向性(まとめ)

高校生や大学生と連携した取組をさらに拡大、充実することで、

・若い力でまちを盛り上げていく

・地域に愛着を持ってもらう